

特集

ヒューマン・コンピュータ・ インタラクション

分野間連携・融合や学際研究の促進が求められている現在、心理学者にとって「うってつけ」の研究分野があります。それは、ヒューマン・コンピュータ・インタラクション（Human-Computer Interaction：HCI）と呼ばれる、人間とコンピュータの間の相互作用に焦点を当てた学際的研究分野です。特に、Association for Computing Machinery（ACM）におけるヒューマン・コンピュータ・インタラクションに関する分科会（SIG）であるSIGCHIは会員数の伸びと国際化が進み（日本は会員数第5位）、その注目度は年々高まっています。また、コロナ禍によって遠隔コミュニケーションの重要性が増す中、当該分野への社会的な期待がますます膨らんでいるように思えます。

「“Disciplineがないこと” がDisciplineである」と言われている HCI分野への心理学者のさらなる進出を願い、本特集を企画しました。最先端のHCI研究を推進されている新世代の研究者の方々より、様々な研究トピックを紹介していただきながら、心理学者へのラブコールを送ってまいります。

（松田壮一郎）